

食べる・たいせつフォーラム開催報告

1. 日時 2025年2月8日(土)11:00~15:15
2. 会場 東奥日報新町ビルNew`s3階 ホールD 青森市新町2丁目2-11
3. 主催 青森県生活協同組合連合会 共催 東北農政局青森県拠点
4. 参加者 136名
一般参加 65名、出展協力者：30名 講師・報告者：5名 主催者関係者：36名
5. 開催概要

(1) 第1部「食べる・たいせつ」展示と体験のコーナーが、予定時刻より30分早い11時に開場し、12時半まで開催された。15のブース出展があり、展示やチェック、クイズ、アンケート、スープづくりなどの体験と出展者との対話で、各取り組みについての理解をはかり、自分の生活習慣や健康度、意識について知るきっかけとなった。参加メーカーによる試食品の提供もあり、喜ばれた。



- (2) 第2部「食」と「環境」公開講座が、主催者を代表し、県生協連の今淳一副会長の挨拶により開会した。
- (3) 学習講演として、農林水産省東北農政局次長原孝文氏より、「持続可能な食料システムの実現に向けて」と題してご講演いただいた。
- (4) 休憩の後、東北農政局原孝文氏の進行で、「食」と「環境」を未来につなぐ県内のすぐれた実践が以下の内容で報告された。
 - ①(株)アグリーンハート代表取締役佐藤拓郎氏より、「地球に感謝される農業を目指して」と題して、スマート農業、有機栽培、農福連携の取り組み。
 - ②NPO法人青森県環境パートナーシップセンター理事志田崇氏より、「アマモによるCO₂の固定化(ブルーカーボン)の推進」と題して、海洋における取り組み。
 - ③生活協同組合コープあおもり宅配事業部農産部門商務兼産直担当の川端真理子氏より「産地の現状を多くの組合員に伝えたい、産地に興味を持ってほしい」と題して、産直産地への理解を深め応援する取り組み。



- (5) 休憩中に出された学習講演の質問に対し講師の原氏より回答がされた。
- (6) 主催者を代表し、東北農政局の原孝文氏より閉会の挨拶がされた。

6. 第1部「食べるたいせつ」展示と体験コーナー出展内容

	出展者名	展示・サンプル提供等内容
①	青森県社会福祉協議会	フードバンクの紹介・フードドライブ寄付コーナー
②	農林水産省東北農政局青森県拠点	みどり戦略の背景「みっちゃん」缶バッジ
③	青森県農林水産部農産園芸課	みどり認定紹介・環境にやさしい農業に関するアンケート
④	太子食品工業株式会社	大豆製品のサンプリング
⑤	日本食研（株）	ハンバーグづくり
⑥	東洋水産グループ	FD（フリーズドライ）スープ作り体験/東洋水産商品のサンプリング
⑦	大塚製薬(株)	ポティメンテ500ml、カロリーメイト
⑧	青森県食生活改善推進員連絡協議会	カルシウム・塩分チェック、サンプル提供
⑨	JA青森中央会組織政策課	国消・国産
⑩	青森県環境パートナーシップセンター	環境家計簿、サステナブルファッション、啓発パンフ配布
⑪	青森県消費生活センター	食品ロス、エシカル消費アンケート
⑫	コープあおもり	生産者との交流・炊き込みご飯コンテスト
⑬	カゴメ株式会社	ベジチェック（野菜推定摂取量測定）
⑭	ブルドックソース(株)	うまソース300ml
⑮	日本生協連	エシカル商品
⑮	県生協連	健康チェック/血圧・骨密度・体組成・測定結果解説、カルシウムメニュー集配布





7. 協賛・協力・後援

協賛：青森県農業協同組合中央会・青森県漁業協同組合連合会・青森県森林組合連合会
 労働者協同組合ワーカーズコープセンター事業団・日本コープ共済生活協同組合連合会
 協力：青森県食生活改善推進員連絡協議会・青森県社会福祉協議会・青森県消費生活センター
 青森県環境パートナーシップセンター（青森県地球温暖化防止活動推進センター）
 後援：青森県・青森市・青森県教育委員会・青森市教育委員会・労働者福祉協議会
 東奥日報社・RAB 青森放送・青森テレビ・青森朝日放送

8. アンケートのまとめ

■ 1. この企画をどのようにして知りましたか？			
①生協からの案内 ②学校・団体・施設で配布（配置）したチラシ			
③知り合いからの紹介 ④その他 ⑤未回答			
項目	人数	割合	
①	44	51%	
②	16	18%	
③	12	14%	
④	12	14%	
⑤	3	3%	
合計	87	100%	
■ 2. あなたの年代をお知らせください。			
項目	人数	割合	
小学生以下	1	1%	
中学生		0%	
高校生	3	3%	
短大・大学生	1	1%	
20代～30代	3	3%	
40代～50代	34	39%	
60代以上	44	51%	
未回答	1	1%	
合計	87	100%	
■ 3. どちらからご参加されましたか？			
項目	人数	割合	
青森市内	72	83%	
青森市以外	14	16%	
未回答	1	1%	
合計	87	100%	
■ 4. 本日参加されたプログラムをお知らせください。			
項目	人数	割合	
全体	55	63%	
1部（展示と体験のコーナー）のみ	16	18%	
2部（「食」と「環境」公開講座）のみ	15	17%	
未回答	1	1%	
合計	87	100%	
■ 5. 参加していかがでしたか（複数回答可）			
項目	人数	割合	
①ためになった、知らないことが理解できた。	64	26%	
②展示や体験が楽しかった。	57	23%	
③講演や報告の内容が勉強になった。	41	17%	
④自分でもやってみみたいこと、努力したいことを考えるきっかけになった。	33	14%	
⑤今後もこのような企画に参加したい。	44	18%	
⑥その他	0	0%	
未回答	5	2%	
合計	244	100%	



感想のコメント



【第1部について】「展示と体験コーナー」

- ・たくさんの企業さんが来ていて活気があってよかった
- ・骨密度や体組成測定など普段体験できないものが体験出来て良かったと思いました。
- ・東北農政局が分かりやすくするための工夫がみられよかった。
- ・健康のための測定が人気でよかった。メーカーの新企画の商品に東北産の材料を使っているのが地産地消で良いと思った。
- ・食等に関する事項、健康に関する情報がたくさんあり、自分の意識が高まりました。
- ・それぞれのブースが色々な特徴を持って楽しく参加しやすかったです。お土産もたくさんもらって大満足でした。ふだん健康を意識していてもなかなか持続できないところがあり、こういうイベントを通して新たに気づかされることも多く良かったです。
- ・自給率や取り組みの現状がわかりました。
- ・実際にカルシウムアンケートや環境家計簿の付け方等を学びとても参考になりました。これからも実践していきたいと思いました。
- ・新しい食品の説明、卵スープにいろいろな具材を入れての試食等参考になりました。
- ・食、健康、地産地消フードロスなど生活していく上での大切さを改めて感じました。

【第2部について】（「食」と「環境」公開講座）

- ・希望の見える農業とか環境に配慮した第1次産業など、とても良いお話をたくさん聞かせて頂いて感謝しています。
- ・すべて興味深く拝聴しました。特に学習講演は未来の青森、次世代へとつなぐ青森を感じさせる内容で、これからの取り組みが進む事に期待しています。
- ・アマモと海水温の関係が気になっていたが、やはり影響があったことを知れてよかった。イカやホタテなど高温で影響を受けているが、環境改善が非常に重要であると再認識した。
- ・タクロンさんのドローンで種まき他のお米作りにはほんとにびっくり！AIでピンポイントに農薬散布もすごい！農薬の怖さも良くわかりました。志田さんの駅前ビーチ等活動は良くニュースで見っていました。ブルーカーボンどんどん推進してほしいです。
- ・みどりの（緑）食料システム戦略が私たちのこれからの食を継続して守っていくためには重要かつ必要だと思った。スマート農業に期待します。海の世界作りが大切な食を守ることも理解した
- ・食料自給率を高めることが急務だと思う。有機等農業を進めるためには、消費者教育が欠かせないと思う。その中で特に子供への教育が重要と考える。
- ・農業の事を知るきっかけになりました。エコ農産物の生産を多くして地球を美しくして次世代に残したい。ブルーカーボンについて初めて知りました。

【全体を通しての感想、今後に向けての要望など】

- ・食が産地生産者の顔が見える取り組み最高ですね。生協利用したいと思います。
- ・「たべる・たいせつ」のイベントは必要です。県のイベントが今年度なかったので、県生協連でできてとても良かったと思います。・今後も続けてほしい。・継続を希望します。
- ・テーマがとても身近な内容で出展者参加者皆共に興味を持ち、熱心さが伝わるとてもいいフォーラムだと思いました。・子どもといっしょに楽しめて良かったです。